

島根原子力発電所第2号機 審査資料	
資料番号	NS2-添 2-022-13 改 02
提出年月日	2023 年 5 月 18 日

VI-2-別添7-2-12 スクラバ容器温度の耐震性についての計算書
(掘削前)

S2 補 VI-2-別添 7-2-12 R0

2023 年 5 月

中国電力株式会社

目 次

1. 概要 1
2. 耐震計算書（添付書類）の耐震条件と掘削前の耐震条件の比較 1

1. 概要

本計算書は、VI-2-別添 7-1「安全対策工事に伴う掘削前の状態における耐震計算の方針」に示すとおり、安全対策工事に伴う掘削前の状態において、スクラバ容器温度が基準地震動 S_s による地震力に対して電氣的機能を維持できることを説明するものである。

2. 耐震計算書（添付書類）の耐震条件と掘削前の耐震条件の比較

スクラバ容器温度の耐震性については、VI-2-6-7-1-4「スクラバ容器温度の耐震性についての計算書」（以下「耐震計算書（添付書類）」という。）において適用している耐震条件と、VI-2-別添 7-2-1「設計用床応答スペクトルの作成方針（掘削前）」に示す掘削前の耐震条件の比較を行う。比較結果を表 2-1 に示す。

表 2-1 耐震条件比較結果（震度）

機器名称	据付場所及び床面高さ (m)	耐震条件		耐震計算書（添付書類）の耐震条件* (①)	掘削前の耐震条件 (②)	比較結果 (① \geq ② : ○, ① $<$ ② : ×)
		電氣的機能維持評価	水平方向震度 鉛直方向震度			
スクラバ容器温度	第1ベントフィルタ格納槽 EL 2.7	電氣的機能維持評価	水平方向震度	3.48	1.33	○
			鉛直方向震度	3.39	2.21	○

注記* : VI-2-1-7「設計用床応答スペクトルの作成方針」に示す設計用震度 I（基準地震動 S_s ）を上回る震度

上記のとおり、耐震計算書（添付書類）に記載の耐震条件が掘削前の耐震条件を包絡しているため、掘削前の耐震条件に対しても、電氣的機能を維持できることを確認した。